



こんにちは

日本共産党

よ ね だ 稔

米田 みのる です

県議会活動報告

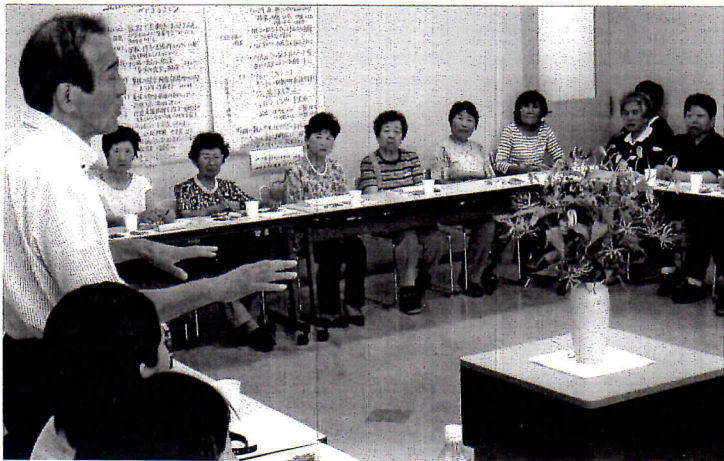
「赤旗」読者ニューズ

2014年8月31日

No. 736

Fax 090-1578-8588

▷事務所 841-2777 ▷県議会控室 823-9524 ▷自宅 841-5468 高知市長浜5183-37



女性のつどいに50人

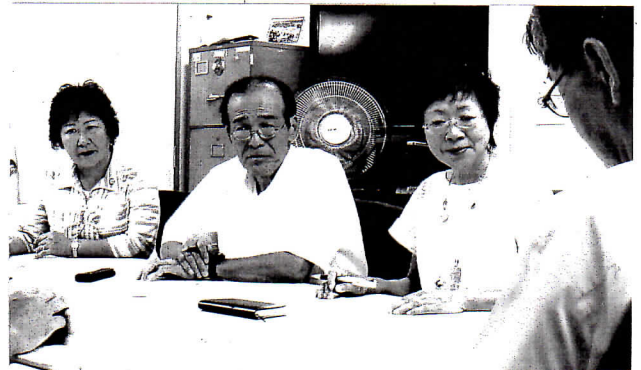
来春へ決意。
要求と運動、

経験も交流

24日、高知市東部スロック初の「女性のつどい」。送迎等協力の男性を含め約50人が参加。細木市議、米田、浜川ゆり子さんがあいさつ。五百小への学童クラブ創設、96歳の父の介護体験、低床車増車の要望など交流しました。

▲女性のつどいで、議会報告、
沃意表明する米田（上）

県に台風被災の救援
を要望（右）



よね(米)ちゃん

1万8千カ所
◎ 広島市の土砂災害で、亡くなるれ、行方不明の方約90人。避難者約20人とも。相次ぐ雨、二次災害の恐れもあり、救助、救援、復旧の願いが強まるばかりです。心よりお見舞い申し上げます。

◎ 全国で22万、高知県下で約1万8千カ所の土砂災害危険箇所があります。「防止法」にもとづく調査「警戒区域」の指定、対策が急がれます。税金の集め方、使い方が向かわれます。

◎ 孫が電話で「じーちゃん、今日東京へ帰る」と。胸がキーンと

床上浸水への支援を検討

日本共産党が県に要望

21日、日本共産党県委と同県議団は、先日の豪雨災害に伴う、被災者救援と対策を求める要望書を県に提出し、懇談しました。番名書記長が「党議決断が被災地に入り調査、要望を聞いた、緊急に対応の検討を」とあいさつ。対応した栗野々村危機管理課の被害への対応も求めました。理部長は「家屋の床上浸水は国の支援制度はなく、何らかの対応が必要で、支援の仕組みを検討している」と回答。また、各地の川の感流に關し「技術的なことを検討する協議会を立ち上げ、根本的な対策の検討を始めたい」とも参加者は、病障や低身長等の被害への対応も求めました。